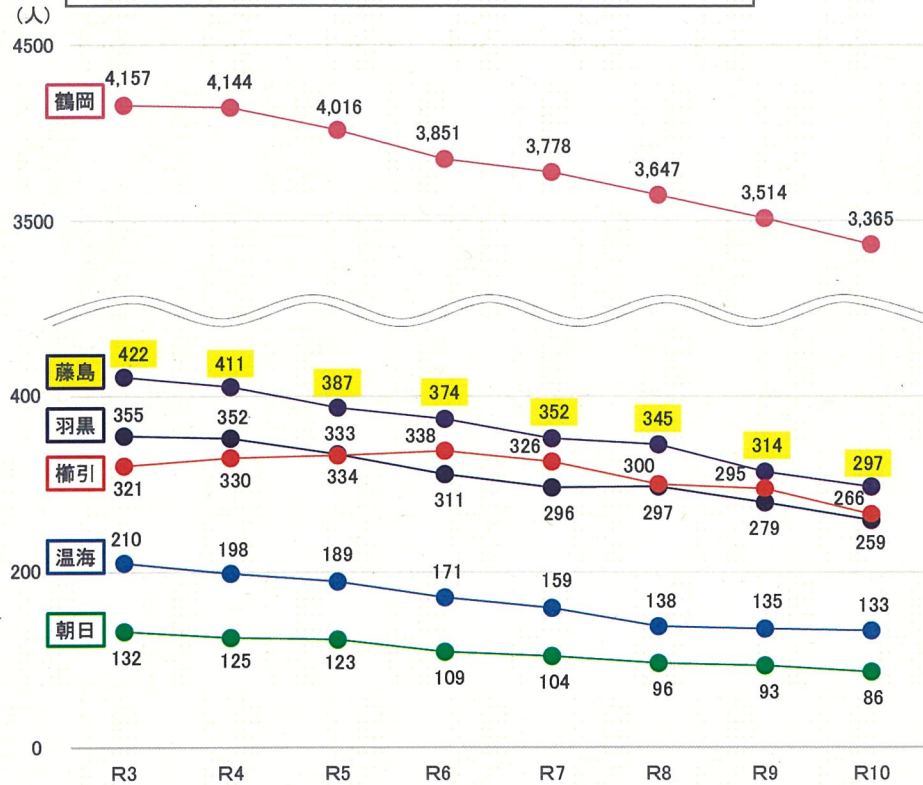


1 藤島中学校区の教育環境の現状と課題(小学校児童数の推移)

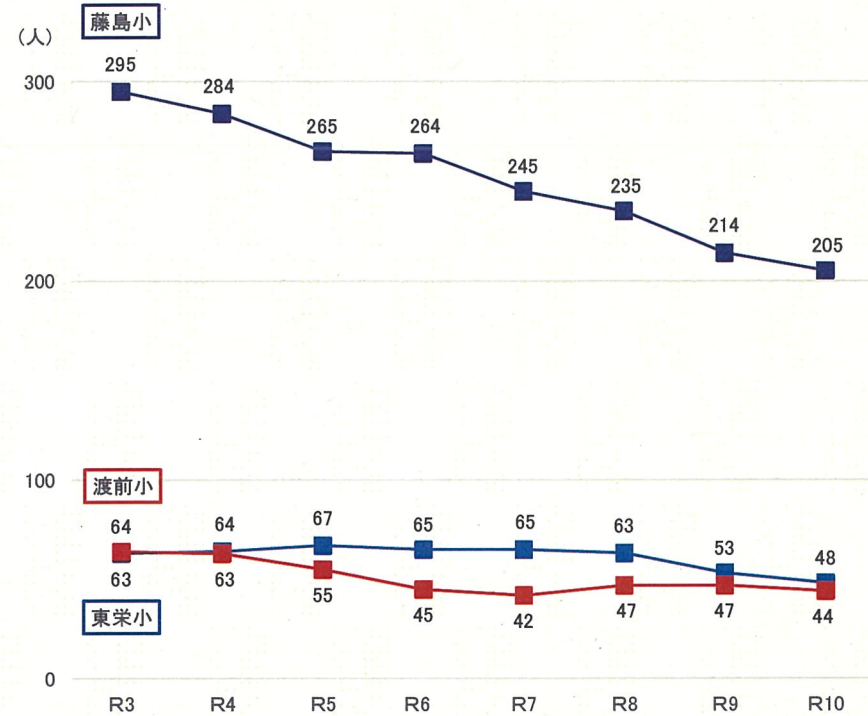
令和4年8月26日
教育委員会管理課

資料No.1-1

■グラフ1 各地域の小学校児童数(総数)の推移



■グラフ2 藤島地域の各小学校児童数(総数)の推移



(参考) 令和4年度小・中学校区別・年齢別集計より。なお、特別支援学校通学や区域外通学等が反映されていない場合あり。R10年度はR3年度に生まれた子どもが小学校に入学する年度

■現状と課題

◎藤島地域ではR3年度から10年度までに、児童数が29.6%減少することが見込まれ、その割合は他地域と比較し中位にある。

(参考)

鶴岡：19.1%、羽黒：27.0%、榎引：17.1%、朝日：34.8%、温海：36.7%

◎R10年度には羽黒地域、榎引地域と同程度の児童数となり、小規模校化が進む。

■現状と課題

◎R3年度から10年度までに、児童数が東栄小は23.8%、藤島小は30.5%、渡前小は31.2%減少することが見込まれる。

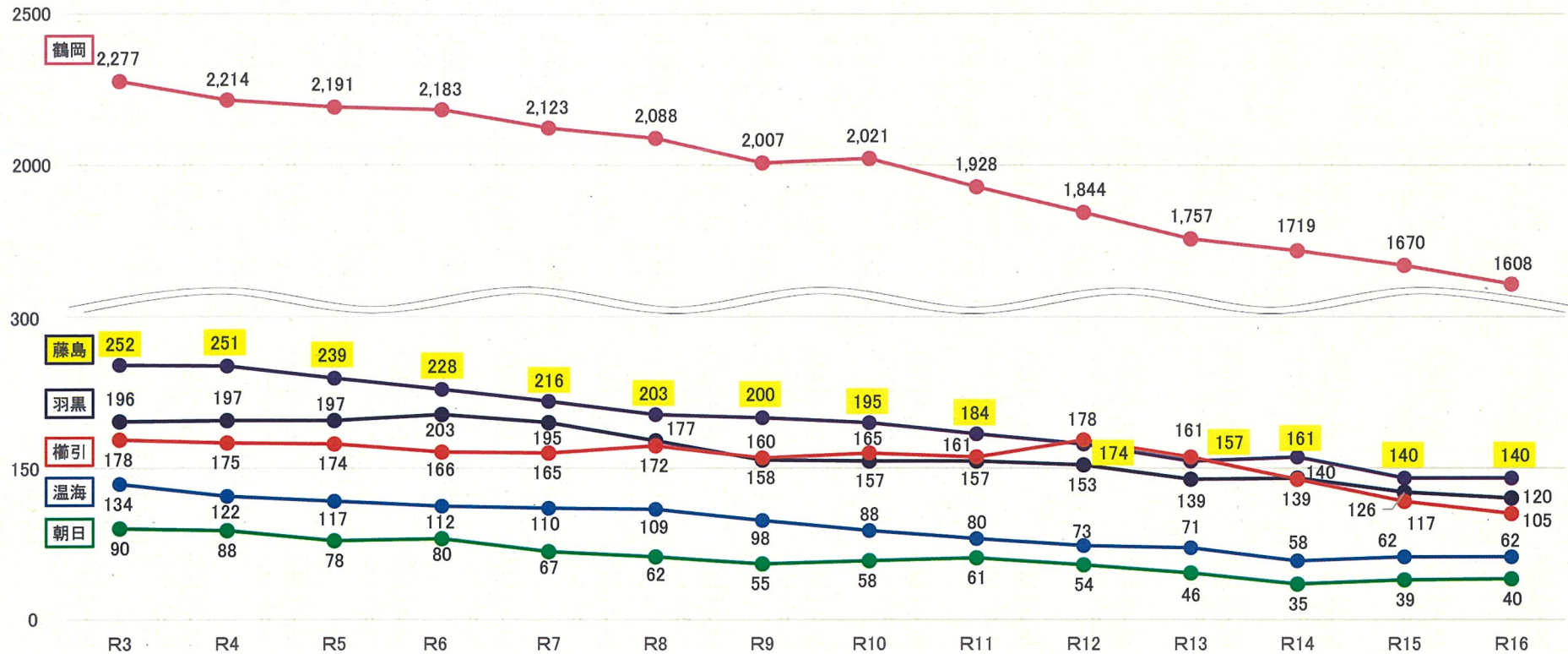
◎東栄小ではR3年度に、渡前小ではR4～10年度に複式学級が発生。特に、渡前小では恒常化が懸念される。

2 藤島中学校区の教育環境の現状と課題(中学校生徒数の推移)

令和4年8月26日
教育委員会管理課

資料No.1-2

■グラフ3 各地域の中学校生徒数(総数)の推移



(参考)令和4年度小・中学校区別・年齢別集計より。なお、特別支援学校通学や区域外通学等が反映されていない場合あり。R16年度はR3年度に生まれた子どもが中学校に入学する年度

■現状と課題

◎藤島地域ではR3年度から10年度までに、生徒数が44.4%減少することが見込まれ、その割合は他地域と比較し中位にある。

(参考) 鶴岡：29.4%、羽黒：38.8%、榎引：41.0%、朝日：55.6%、温海：53.7%

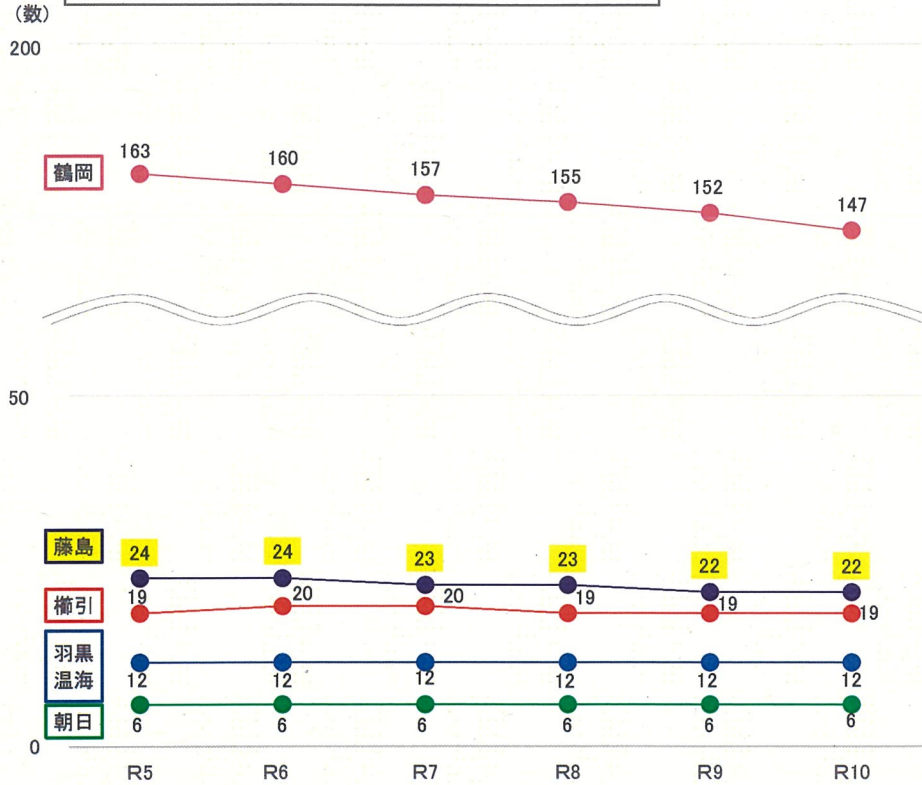
◎R12～13年度には榎引地域の生徒数が藤島地域を一時的に上回る。

3 藤島中学校区の教育環境の現状と課題(学級数の推移)

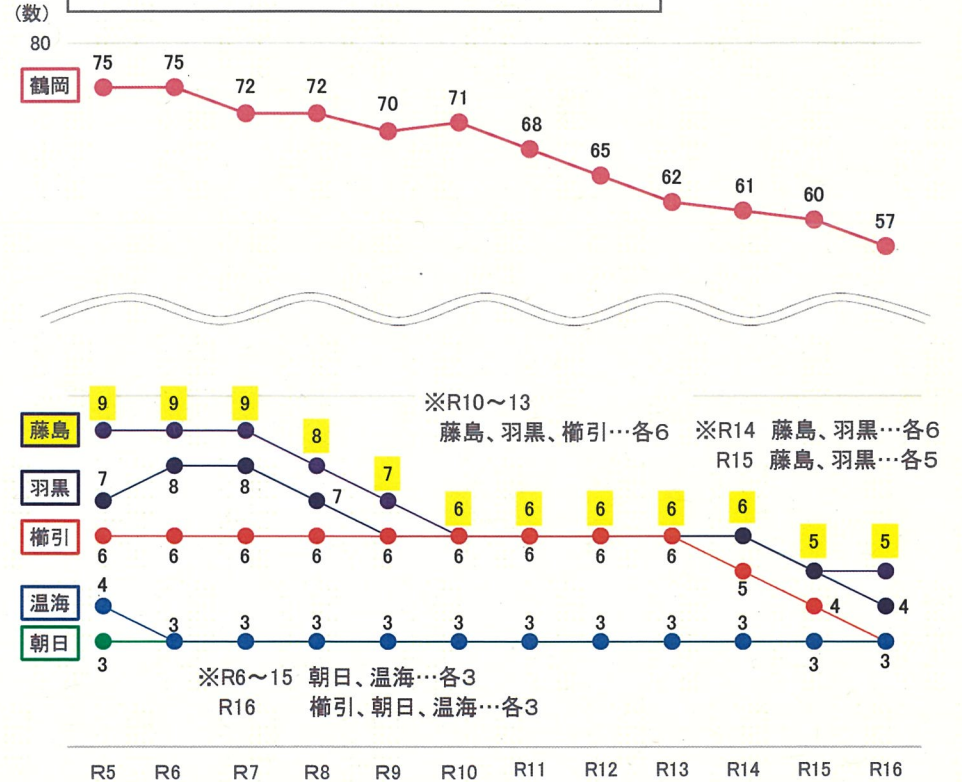
令和4年8月26日
教育委員会管理課

資料No.1-3

■グラフ4 各地域の小学校学級数の推移



■グラフ5 各地域の中学校学級数の推移



(参考)令和4年度小・中学校区別・年齢別集計より試算。なお、複式学級発生は考慮していない。特別支援学級は除く。

■現状と課題

- ◎鶴岡地域と藤島地域のみ減少することが見込まれる。
- ◎小規模校化により教職員配置数も減少する。


■現状と課題

- ◎藤島地域ではR10~13年度に、羽黒地域、榑引地域の同じ学級数となり、その後も減少することが見込まれる。
- ◎小規模校化により教職員配置数も減少する。

4 藤島地域小中学校の施設面での現状と課題(藤島中、藤島小)

令和4年8月26日
教育委員会管理課

資料No.1-4


藤島中学校					
		校舎棟	昭和43~44年 (築53~54年) 旧耐震		
		屋体棟	昭和44年(築53年) 旧耐震		
		令和2年度 長寿命化計画			
		劣化 状況結果	C~D (広範囲に劣化、 早急に対応が必要)		
耐震診断 (H19年度 実施)	校舎棟	H21・24・25年度 耐震改修工事	健全度	校舎棟	41~53点 /100点
	屋体棟	H21年度耐震改修工事		屋体棟	27点/100点
現在の状況					
■ 躯体					
地盤沈下等で段差が生じている箇所あり ★★					
■ 設備					
設備系統が古い、設備寸法が建屋の寸法に合わず更新費用がかさむ ★★★					
■ 内外装等					
梁や軒天にクラック、仕上げ材の剥離あり(梁部はR3年度末に応急処置対応) ★★★					
内壁、外壁にクラック多数あり ★★					
凡例…緊急度 ★★★ 高 ★★ 中 ★ 低					


藤島小学校					
		校舎棟	昭和51年(築46年) 旧耐震		
		屋体棟	昭和52年(築45年) 旧耐震		
		令和2年度 長寿命化計画			
		劣化 状況結果	C(広範囲に劣化) 内部仕上げのみB (部分的に劣化)		
耐震診断 (H12年度 実施)	校舎棟	H14・15耐震改修工事	健全度	校舎棟	53点/100点
	屋体棟	Is値0.91だったため 補強未実施		屋体棟	40点/100点
現在の状況					
■ 躯体					
地盤沈下等で校舎床が傾いていたり、建具との隙間、外階段やベランダ等と壁面に隙間が生じている箇所あり ★★★					
■ 設備					
敷地内給水管に漏水箇所が多数みられ、修繕が追いつかない ★★					
■ 内外装等					
梁や軒天にクラック、仕上げ材の剥離あり ★★★					
床面にクラックあり ★★					
内壁、外壁にクラック多数あり ★					
防水シート、雨樋の劣化等により雨漏り箇所があり ★					
凡例…緊急度 ★★★ 高 ★★ 中 ★ 低					

5 藤島地域小中学校の施設面での現状と課題(東栄小、渡前小)

令和4年8月26日
教育委員会管理課

資料No.1-5

東栄小学校					
		校舎棟	昭和59年(築38年) 新耐震		
		屋体棟	昭和55年(築42年) 旧耐震		
		令和2年度 長寿命化計画			
		劣化 状況結果	C(広範囲に劣化)		
耐震診断 (H19年度 実施)	校舎棟	対象外	健全度	校舎棟	40点/100点
	屋体棟	H24耐震補強工事		屋体棟	40点/100点
現在の状況					
■ 躯体					
鉄筋の腐食によりコンクリート壁が爆裂した箇所が多数あり剥離の危険あり ★★★					
■ 設備					
設備が古く更新費用が高額 ★★					
■ 内外装等					
体育館外壁(モルタル)全体にクラックあり ★★					
体育館内壁にクラックあり、雨水の浸透あり ★★					
コンクリート壁が全体的に劣化し、白華(炭酸カルシウム化)箇所あり★					
校舎・天井に複数の隙間やずれあり ★★					
				凡例…緊急度 ★★★ 高 ★★ 中 ★ 低	

渡前小学校					
		校舎棟	昭和63年(築34年) 新耐震		
		屋体棟	昭和54年(築43年) 旧耐震		
		令和2年度 長寿命化計画			
		劣化 状況結果	C(広範囲に劣化)		
耐震診断 (H19年度 実施)	校舎棟	対象外	健全度	校舎棟	40点/100点
	屋体棟	H24年度耐震補強工事		屋体棟	40点/100点
現在の状況					
■ 躯体					
鉄筋の腐食によるコンクリート壁の剥離箇所あり ★★★					
地盤沈下等で傾きや隙間が生じている箇所あり ★★					
■ 設備					
設備が古く更新費用が高額 ★★★					
■ 内外装等					
梁や軒天にクラック、仕上げ材の剥離あり ★★					
内壁、外壁にクラックあり ★					
				凡例…緊急度 ★★★ 高 ★★ 中 ★ 低	